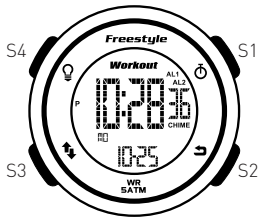
SPRINT



S1.スタート/ストップボタン
S2.ラップ/リセットボタン
S3.モードボタン
S4.ライトボタン

特徴
- 時刻
- ストップウォッチ1/100秒 1時間までカウント可
- デュアルタイム
- デイリーアラーム
- デュアルタイムアラーム
- プリセットタイマー (1・3・5・10・15・25・30・45・60分)
- 時刻お知らせチャイム
- カレンダー (月/日/曜日)
- 3秒間遅延ELバックライト
- 50M 防水
- 10ラップ、ラップ呼び出し機能
- イージー設定機能

表示モード
この時計には次の5つの表示モードがあります。HOME TIME (TIME) / FOREIGN TIME (TM-2)、ALARM (ALM1/ALM2)、STOPWATCH (STW)、COUNTDOWN RECALL DATA (RCL) 、TIMER (TMR).

表示モードを変換するには、S3ボタンを1回押してください。モード記号が2秒間表示され、選択したモードがオンになります。

お知らせ矢印
S1、S2、S3ボタンにはお知らせ矢印が表示されます。

時刻、カレンダー、アラームの設定でそれぞれのボタンを押す必要がある場合にこの矢印が表示されます。

いずれかの設定モードで、S1ボタンを約2秒間押さえると、数字を早く進めることができます。

ホーム/海外タイム表示
海外タイムを表示するには、ホームタイムが表示の時にS2ボタンを押します。モード記号(TM-2)が表示されてから海外タイムが表示されます。ホームタイムに戻す場合はもう一度S2ボタンを押します。

時刻・カレンダーを合わせる
1. S3ボタンを押してタイムモードを選択します。
2. S2ボタンを押すとホームタイムと海外タイムモードが切り替わります。
3. S2ボタンを約2秒間長押しすると、「SET」のメッセージが表示されて、時桁が点滅します。
4. S1を1回ずつ押すと1分ずつ時間を進めることができます。ボタンを長押しすると早く進みます。
5. S3ボタンを押すと、分桁が点滅します。
6. S1を1回ずつ押すと1分ずつ時間を進めることができます。ボタンを長押しすると早く進みます。
7. S3ボタンを押します。秒桁が点滅します。
8. S1ボタンを押して秒刻を0にリセットします。
9. 同じ作業を、月・日・曜日・時間フォーマット・カレンダーフォーマットについてそれぞれ繰り返して行ってください。
10. 時間フォーマットの設定は、S1ボタンを押して12時間表示と24時間表示を切り替えてください。
    PM表示は12時間表示の場合に表示されます。
11. 日付フォーマットの設定は、S1ボタンを押すとM-D(月-日)表示と D-M (日-月) 表示が切り替わります。
12. 全ての設定が終わったらS2を押して設定を終了します。

注:選択した日付フォーマットと時間フォーマットはホームタイム、海外タイムの設定両方に適用されます。

注:海外タイムは、月・日・曜日・時・分のみの設定が可能です。

アラームを設定する
1. S3ボタンを押してアラームモードを選択します。
2. S2を押すとALM1モードとALM2モードを切り替えることができます。
3. S2ボタンを約2秒間長押しすると、「SET」のメッセージが表示されて、時桁が点滅します。
4. S1を1回ずつ押すと1分ずつ時間を進めることができます。ボタンを長押しすると早く進みます。
5. S3ボタンを押します。分桁が点滅します。
6. S1ボタンを押して分刻を設定します。ボタンを長押しすると早く進みます。
7. 全ての設定が終わったらS2を押して設定を終了します。

アラームと毎時チャイムのオン/オフ設定
アラームモードにします。
1. S2を押すとALM1モードとALM2モードを切り替えることができます。
2. S1を1回押すとアラームがオンになります。アラーム記号 **AL1 AL2** が表示されます。
3. もう一度ボタンを押すと毎時チャイムがオンになります。チャイム記号 **CHIME** が表示されます。
4. もう一度ボタンを押すと両機能がオンになります。アラームのアイコン**AL1 AL2** とチャイムのアイコン **CHIME** が表示されます。
5. もう一度ボタンを押すと両機能がオフになります。アラームのアイコン**AL1 AL2** とチャイムのアイコン [INSERT CHIME ICON] が非表示になります。

アラーム・時刻お知らせチャイムを鳴らす
毎時チャイム機能がオンになっている場合は一時間ごとに音楽がなります。

指定の時間に20秒間アラーム音が鳴ります。音を止めたいときは、いずれかのボタンを押してください。

機能を解除するときは、S3ボタンを押してALM1 またはALM2モードを選択し、S1ボタンを押して解除する機能の記号を非表示にしてオフにします。

ストップウォッチを使う
1. S3ボタンを押してストップウォッチモードを選択します。
2. その時点でのストップウォッチの状態(停止/測定中/リセット)が表示されます。
3. カウントを再開するには、もう一度S1を押すと、ストップした時点から再びカウントが始まります。
4. 新しくカウントしなおす場合は、

ストップウォッチをゼロに戻してください。
S1を押してカウントを停止してから、S2ボタンを約3秒間長押ししてカウンターを0にリセットしてください。

タイムの測定は以下のように行います。
STOPWATCHモードにします。
1. S1ボタンを押すとカウントが始まります。
2. カウントをストップするにはS1ボタンを1回押します。もう一度S1を押すと、ストップした時点から再び測定が始まります。
3. 0にリセットするには、S1ボタンを押してカウントを停止してから、S2ボタンを約3秒間長押しします。

ラップタイムの測定
STOPWATCHモードにします。
1. S1ボタンを押すとカウントが始まります。
2. ストップウォッチがカウントしている間にS2ボタンを1回押してラップを登録します。登録したラップのラップ番号とラップタイムが表示されます。その時、ストップウォッチは同時にカウントを行っています。約5秒後に現在のラップタイムとラップ番号が表示されます。
3. 全てのラップの登録が終わるまで、最後のステップを繰り返してください。
4. 0にリセットするには、S1ボタンを押してカウントを停止してから、S2ボタンを約3秒間長押しします。

注:ストップウォッチの使用中に他のモードに切り替えることができます。ストップウォッチのアイコン ⏱ が表示されます。

注:最初の1時間はMM.SSｈｈ（00分00.00秒）のフォーマットで表示されます。1時間を経過するとクロノグラフはHH:MM.SS（00時間00分00秒）のフォーマットで表示されます。

注:ストップウォッチのカウントが1時間を経過すると、一旦カウントが停止し、カウントしたタイムがHH:MM.SS(00時間00分00秒)とMM.SS.hh (00分00.00秒)のフォーマットで2秒間隔で表示されます。

注:ストップウォッチでは最初のラップ10件までの登録が可能です。

注:ストップウォッチでは最大99時間59分59.99秒までカウントすることができます。

RECALLモードの使用
1. S3ボタンを押してRECALLモードを選択します。
2. 合計経過タイム [TTL] または「NO DATA」(ラップが登録されていない場合)のメッセージが表示されます。
3. S1ボタンを押すと、保存しているラップの記録が、合計経過タイム [TTL]、最高ラップタイム[FAST]、最低ラップタイム[SLOW]、平均ラップタイム[AVG]、各ラップの記録 [LAP-XX] の順で表示されます。
4. 各ラップの記録 [LAP-XX] が表示されているときにS2ボタンを押すと、保存している各ラップの記録を順に切り替えることができます。

注:RECALLモードでは、約3分間ボタンの操作がなかった場合は自動的にNORMAL TIMEモードに戻るように設定されています。

注:ストップウォッチのカウントが1時間を経過すると、一旦カウントが停止し、カウントしたタイムがHH:MM.SS(00時間00分00秒)とMM.SS.hh (00分00.00秒)のフォーマットで2秒間隔で表示されます。

タイマーを設定する
1. S3ボタンを押してタイマーモードを選択します。
2. S2ボタンを押すと、タイマーの設定時間を1, 3, 5, 10, 15, 25, 30, 45 ,60 分から選択することができます。

タイマーを使う
タイマーモードにします。
1. S1ボタンを押すとカウントが始まります。
2. カウントをストップするにはS1ボタンを1回押します。もう一度S1を押すと、ストップした時点から再び測定が始まります。
3. タイマーをリセットするには、S1ボタンを押してカウントを停止してから、S2ボタンを約2秒間長押しします。
4. タイマーがゼロになると20秒間お知らせ音が鳴ります。お知らせ音を止める場合はボタンを押してください。どのボタンでもかまいません。タイマーが自動的にリロードします。

注:タイマーの使用中に他のモードに切り替えることができます。

バックライトを使う
S4ボタンを押すと3秒間バックライトが点灯します。

カーボンフットプリントの減少を目的としてFreestyleの取扱説明書は大豆インキとリサイクル紙を使用しています